



豪華なもちまきに手を伸ばす来場者

冬の魅力を体感

第14回くずまき高原牧場冬まつり

2月3日と4日、第14回くずまき高原牧場冬まつりがプラトーで開催され、約1,500人が来場しました。

オープニングセレモニーでは觸澤義美副町長が「寒い季節に地域の資源を見つめ直し、大いにイベントを楽しみ町の活力を高めていきましょう」とあいさつしました。セレモニー後のもちまきでは特産品のチーズなど豪華な品もまかれ、大人も子どもも夢中になって手を伸ばしていました。

雪中綱引き大会には町内外から11チームが出場。参加者は滑る足元に苦戦しながら綱を引いていました。また、タイヤチューブプロングすべり台やスノーモービル乗車体験など、冬ならではの遊びや体験が全て無料で提供され、来場者は思う存分牧場の冬の魅力を体感していました。



約200メートルも斜面を滑走するタイヤチューブプロングすべり台



力いっぱい綱を引く葛巻中学校のチーム



真っ白な雪原を疾走するスノーモービル乗車体験



雪中宝さがしで雪に埋まった宝物を探し出す子どもたち

第16回まちなか雪まつり

1月28日、新町自治会館前で第16回まちなか雪まつり(まちなか活性化協議会主催)が開催されました。

恒例のまちなか雪像コンテストは、雪不足や雨に見舞われながらも力作が並び、町長賞には小屋瀬保育園が制作した「恐竜」が選ばれました。会場では甘酒とホットミルクが振る舞われ、雪中宝さがしや茶屋場えんぶりの催しが来場者を楽しませていました。



豊作を祈願する茶屋場えんぶり



町長賞を受賞した小屋瀬保育園の作品「恐竜」



甘酒とホットミルクのお振る舞い



第50回町民スキー大会 第15回町民スノーボード大会

節目の大会晴れやかに開催

2月18日、町教育委員会主催の第50回町民スキー大会と第15回町民スノーボード大会が平庭高原スキー場で開催されました。

町民スキー大会は、昭和50年2月に大沢地区の牧草地で第1回大会が開催されており、以来半世紀にわたり続く歴史ある大会です。スキー大会に出場した最高齢の藤岡一雄さん(92歳、平船)をはじめ選手たちは斜面を果敢に攻めて滑走し、ゴールすると皆晴れやかな笑顔を見せていました。

また、今大会では町スキー協会(川戸清美会長)が選手や関係者に節目を記念したハンドタオルを贈り、さらなる大会の発展を願っていました。

競技結果(各クラス1位)			
区分	クラス	氏名	タイム
スキー	小学校男子A(1~2年生)	上野 櫻斗(五田市小2年)	1分01秒34
	小学校男子B(3~4年生)	清水野海龍(五田市小4年)	56秒32
	小学校女子B(3~4年生)	鹿糠 志帆(葛巻小4年)	1分13秒89
	小学校男子C(5~6年生)	川下 嵐(江刈小5年)	53秒95
	高校・一般男子A(16~34歳)	川下 和人(橋場)	45秒78
	高校・一般男子B(35~54歳)	主演 隆志(下町)	59秒14
	高校・一般男子C(55歳以上)	千葉 郁男(町スキー協会)	42秒44
スノーボード	高校・一般女子B(30~45歳)	波紫 尚子(橋場)	53秒08
	小学校女子A(1~2年生)	加賀谷 心(五田市小2年)	1分21秒40
	中学校男子	榎木 竜人(葛巻中3年)	1分07秒65
	一般男子B(35~54歳)	榎木 裕太(茶屋場)	52秒48
	一般女子B(30~44歳)	清水野紹子(車門)	1分17秒22



選手の皆さんの声



スキー
藤岡一雄さん(平船)

スキーを始めたのは40代で、江川の牧草地などで滑った思い出があります。雪の上に立つといういろんなことを忘れられるのでスキーは良いです。



スノーボード
清水野紹子さん(車門)

チラシで大会を知りました。初めて出場したので緊張しましたが、転ぶことなくゴールできて良かったです。参加できてとても良かったです。



スノーボード
榎木竜人さん(葛巻中3年)

今回はゲレンデが滑りにくかったので、タイムは気にせず慎重に滑りました。無事にゴールできて良かったです。来年も出場したいです。



スキー
鹿糠志帆さん(葛巻小4年)

少し転びそうになったけど、頑張ってゴールし賞状をもらったので嬉しいです。スキーはスピードに乗ると気持ち良いので好きです。